

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-74118

(43)公開日 平成5年(1993)3月26日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 1 1 B 31/00

M 8322-5D

20/00

F 7426-5D

H 0 4 N 5/782

K 7916-5C

7/16

Z 8838-5C

7/20

8943-5C

審査請求 未請求 請求項の数1(全5頁)

(21)出願番号

特願平3-234226

(22)出願日

平成3年(1991)9月13日

(71)出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72)発明者 桃谷 謙次

大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ
株式会社内

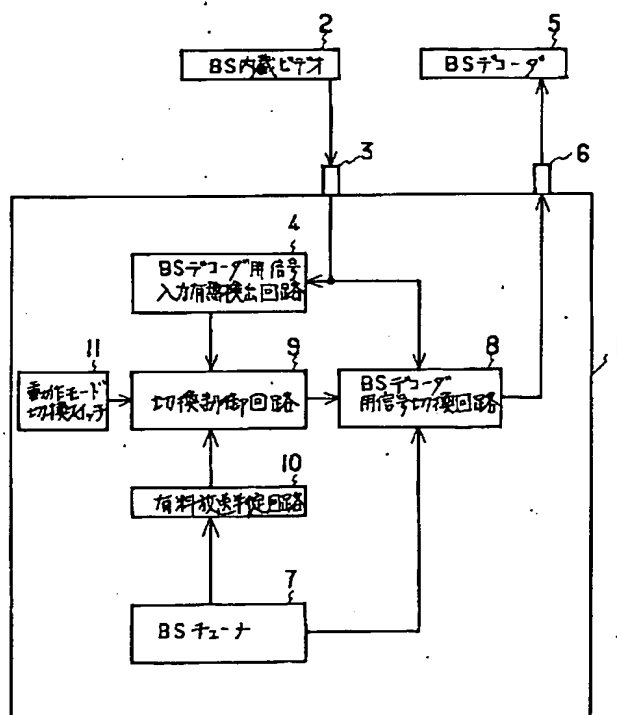
(74)代理人 弁理士 梅田 勝

(54)【発明の名称】 テレビジョン受信機

(57)【要約】

【目的】 BSチューナ内蔵ビデオテープレコーダの録画を保護すると共にBSチューナ内蔵ビデオテープレコーダが非動作時にはBSチューナ内蔵テレビジョン受信機でBSデコーダを利用可能な切換システムを実現する。

【構成】 個別のBSチューナ内蔵ビデオテープレコーダ2とBSチューナ内蔵テレビジョン受信機1とにより1台のBSデコーダ5を共用するシステムにおいて、BSチューナ内蔵ビデオテープレコーダ2の動作状況を監視しながらBSデコーダ5の使用機器の切り換えを行なう。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 BSデコーダへのBSデコーダ用信号を送出するBSデコーダ用信号出力端子と、ビデオテープレコーダに内蔵したBSチューナからのBSデコーダ用信号を入力するBSデコーダ用信号入力端子と、上記BSデコーダ用信号出力端子へテレビジョン受信機に内蔵したBSチューナのBSデコーダ用信号と、上記BSデコーダ信号入力端子へ入力されたBSデコーダ用信号とを切り換えて出力するBSデコーダ用信号切回路と、上記BSデコーダ用信号入力端子へ接続された上記ビデオテープレコーダに内蔵したBSチューナよりBSデコーダ用信号が入力されているか否かを判定するBSデコーダ用信号入力有無検出回路と、上記テレビジョン受信機に内蔵したBSチューナの選局チャンネルが有料放送かを判定する有料放送判定回路と、上記BSデコーダ用信号入力有無検出回路での判定結果と上記有料放送判定回路による有料放送判定結果に応じて上記BSデコーダ用信号切回路を制御する切制御回路と、その切制御回路を録画優先モードとテレビ優先モードのどちらかの一方の優先モードに切り換えるモード切手段とを備えてなることを特徴とするテレビジョン受信機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はBSチューナを内蔵したビデオテープレコーダと1台のBSデコーダを共用するためのBSデコーダ用信号切機能具备したBSチューナを内蔵したテレビジョン受信機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来のBSデコーダ用信号切機能有するBSチューナを内蔵したテレビジョン受信機を図2とともに説明する。

【0003】 従来のBSチューナを内蔵したテレビジョン受信機（以下BSチューナ内蔵テレビと称す）12は、BSチューナを内蔵したビデオテープレコーダ（以下BSチューナ内蔵ビデオと称す）13からのBSデコーダ用信号を入力するBSデコーダ用信号入力端子14と、BSデコーダ15へBSデコーダ用信号を出力する為のBSデコーダ用信号出力端子16と、上記BSチューナ内蔵テレビ12のBSチューナ17が受信中のチャンネルが有料放送であるかを判定する有料放送判定回路18と、上記BSデコーダ用信号出力端子16に出力するBSデコーダ用信号を上記BSデコーダ用信号入力端子14から入力される信号と上記BSチューナ内蔵テレビ12のBSチューナ17のBSデコーダ用信号を切り換えるBSデコーダ用信号切回路19と、上記有料放送判定回路18の判定結果により上記BSチューナ内蔵テレビ12のBSチューナ17が有料放送受信時のみそのBSチューナ17のBSデコーダ用信号を上記BSデコーダ用信号出力端子16に出力し、それ以外ではBSデコーダ用信号入力端子14に入力されるBSデコーダ

用信号をBSデコーダ用信号出力端子16に出力するようにBSデコーダ用信号切回路19を制御する切制御回路20とにより構成するものである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 上記のように構成してなる従来のBSチューナ内蔵テレビであれば、BSデコーダ用信号入力端子に接続されたBSチューナ内蔵ビデオがBSデコーダを使用した録画を行なっている時に、BSチューナ内蔵テレビが有料放送チャンネルを受信すると、BSチューナ内蔵ビデオの録画状態を無視してテレビ内蔵のBSチューナのBSデコーダ用信号をBSデコーダ信号出力端子に出力する切制御がなされ、そのために録画中のBSチューナ内蔵ビデオはBSデコーダを使用できなくなり目的のチャンネルの録画ができないという問題が生じる。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明のテレビジョン受信機は上記のような問題を解決したもので、BSデコーダへのBSデコーダ用信号を送出するBSデコーダ用信号出力端子と、ビデオテープレコーダに内蔵したBSチューナからのBSデコーダ用信号を入力するBSデコーダ用信号入力端子と、上記BSデコーダ用信号出力端子へのテレビジョン受信機に内蔵したBSチューナのBSデコーダ用信号と上記BSデコーダ信号入力端子への入力されたBSデコーダ用信号とを切り換えて出力するBSデコーダ用信号切回路と、上記BSデコーダ用信号入力端子へ接続された上記ビデオテープレコーダに内蔵したBSチューナよりBSデコーダ用信号が入力されているか否かを判定するBSデコーダ用信号入力有無検出回路と、上記テレビジョン受信機に内蔵したBSチューナの選局チャンネルが有料放送かを判定する有料放送判定回路と、上記BSデコーダ用信号入力有無検出回路での判定結果と上記有料放送判定回路による有料放送判定結果に応じて上記BSデコーダ用信号切回路を制御する切制御回路と、その切制御回路を録画優先モードとテレビ優先モードのどちらかの一方の優先モードに切り換えるモード切手段とを備えてなる構成にしたものである。

【0006】

【作用】 上記構成により、動作モード切手段によりテレビ優先モードと録画保護（優先）モードの2つのモードを切り換えることにより切制御回路はそのモードにあつた切制御を実現することができる。

【0007】 即ち、テレビ優先モードでは切制御回路は、有料放送判定回路よりテレビジョン受信機に内蔵したBSチューナ（以下テレビ内蔵BSチューナと称す）が選局しているチャンネルが有料放送と判定された時のみテレビ内蔵BSチューナのBSデコーダ信号をBSデコーダ用信号出力端子に出力するようにBSデコーダ用信号切回路を制御し、それ以外の時にはBSデコーダ

用信号入力端子に接続されたBSチューナ内蔵ビデオからのBSデコーダ用信号をBSデコーダ用信号切換回路を動作させ、これによりテレビが有料放送を受信する時にBSデコーダを使用できる。

【0008】そして、モード切換手段により録画保護モードが選択されると、切換制御回路はBSデコーダ用信号入力有無検出回路の判定結果が入力信号有の判定であれば、BSデコーダ用信号入力端子に接続されたBSチューナ内蔵ビデオが動作中であると判定し、BSデコーダ用信号出力端子への信号をBSデコーダ用信号入力端子からの入力信号に切り換えるようにBSデコーダ用信号切換回路を制御する。

【0009】また、BSデコーダ用信号入力有無検出回路の判定結果が入力信号無しの判定であれば、BSデコーダ用信号入力端子に接続されたBSチューナ内蔵ビデオが動作していないと判定し、BSデコーダ用信号出力端子への信号をテレビ内蔵BSチューナのBSデコーダ信号に切り換えるようにBSデコーダ用信号切換制御回路を制御する。

【0010】

【実施例】以下本発明のテレビジョン受信機の一実施例を図1とともに説明する。

【0011】本発明のBSチューナを内蔵したテレビジョン受信機（以下BSチューナ内蔵テレビと称す）1はBSチューナを内蔵したビデオテープレコーダ（以下BSチューナ内蔵ビデオと称す）2からのBSデコーダ用信号を入力する為のBSデコーダ用信号入力端子3と、そのBSデコーダ用信号入力端子3から入力される信号の有無を判定するBSデコーダ用信号入力有無検出回路4と、BSデコーダ5へBSデコーダ用信号を出力する為のBSデコーダ用信号出力端子6と、上記BSデコーダ用信号入力端子3から入力されたBSデコーダ用信号と上記BSチューナ内蔵テレビ1のBSチューナ7で発生したBSデコーダ用信号とを切り換えてBSデコーダ用信号出力端子6に出力するBSデコーダ用信号切換回路8と、そのBSデコーダ用信号切換回路8を各種情報により制御する切換制御回路9と、上記BSチューナの受信チャンネルの有料放送状態を検知する有料放送判定回路10と、上記切換制御回路9の動作をテレビジョン受信機（以下テレビと称す）優先モードとビデオテープレコーダ（以下ビデオと称す）の録画保護モードに切り換える動作モード切換スイッチ11とにより構成するものである。

【0012】上記のように構成してなるBSチューナ内蔵テレビ1において、切換制御回路1は動作モード切換スイッチ11の状態によりその制御状態を切り換え、その動作モード切換スイッチ11がテレビ優先モードに設定されると、上記切換制御回路9は有料放送判定回路10により判定されたテレビ内蔵のBSチューナ7の受信チャンネルの有料放送の状態によって、有料放送であれ

ば上記BSチューナ7のBSデコーダ用信号を、有料放送以外であればBSデコーダ用信号入力端子3に接続されるBSチューナ内蔵ビデオ2からのBSデコーダ用信号をBSデコーダ用信号出力端子6に出力するようにBSデコーダ用信号切換回路8を制御する。これにより、BSチューナ内蔵テレビ1は自己の必要な時にBSデコーダ5の利用が可能となる。

【0013】また、上記動作モード切換スイッチ11が録画優先モードに設定されていると、切換制御回路9はBSデコーダ用信号入力有無検出回路4の判定結果によりBSデコーダ用信号入力端子3に接続されたBSチューナ内蔵ビデオ2が動作中か否かを判定し、上記BSデコーダ用信号入力有無検出回路4の判定結果が入力信号「有」と判定されれば接続されたBSチューナ内蔵ビデオ2が動作中と判断し、BSデコーダ用信号出力端子6への信号をBSデコーダ用信号上記入力端子3からの入力信号に切り換えるようにBSデコーダ用信号切換回路8の制御を行いBSチューナ内蔵ビデオ2がBSデコーダ5を使用できるような信号の流れを確保する。そして、上記BSデコーダ用信号入力有無検出回路4の判定結果が入力信号「無」の判定であれば、上記BSデコーダ用信号入力端子3に接続された上記BSチューナ内蔵ビデオ2が動作していないと判定し、上記BSデコーダ用信号出力端子6への信号をテレビ内蔵のBSチューナ7のBSデコーダ信号により切り換えるようにBSデコーダ用信号切換回路8を制御することによりテレビ側でBSデコーダ5を使用できるようにする。

【0014】尚、ここでいうBSチューナ内蔵テレビ1に示されている回路はBSチューナ内蔵テレビ1がスタンバイ状態であっても動作しているので、BSチューナ内蔵ビデオ2が録画状態あるいはタイマー録画スタンバイ状態の時には常に動作モード切換スイッチ11を録画優先モードにしておくことで、自動的にBSチューナ内蔵ビデオ2がBSデコーダ5を使用できるような信号の流れを確保し、チューナ内蔵ビデオ2とBSデコーダ5の接続を確実にこなう。

【0015】

【発明の効果】本発明のテレビジョン受信機は上記のような構成であるから、個別のBSチューナ内蔵ビデオとBSチューナ内蔵テレビとにより1台のBSデコーダを共用するシステムにおいて、BSチューナ内蔵ビデオの動作状況を監視しながらBSデコーダ使用機器の切り換えを行なう為、BSチューナ内蔵ビデオの録画を保護すると共にBSチューナ内蔵ビデオが非動作時にはBSチューナ内蔵テレビでBSデコーダを利用可能な切換システムを有したBSチューナ内蔵テレビが実現できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のテレビジョン受信機の一実施例を示すブロック図である。

【図2】従来のテレビジョン受信機の一実施例を示すブ

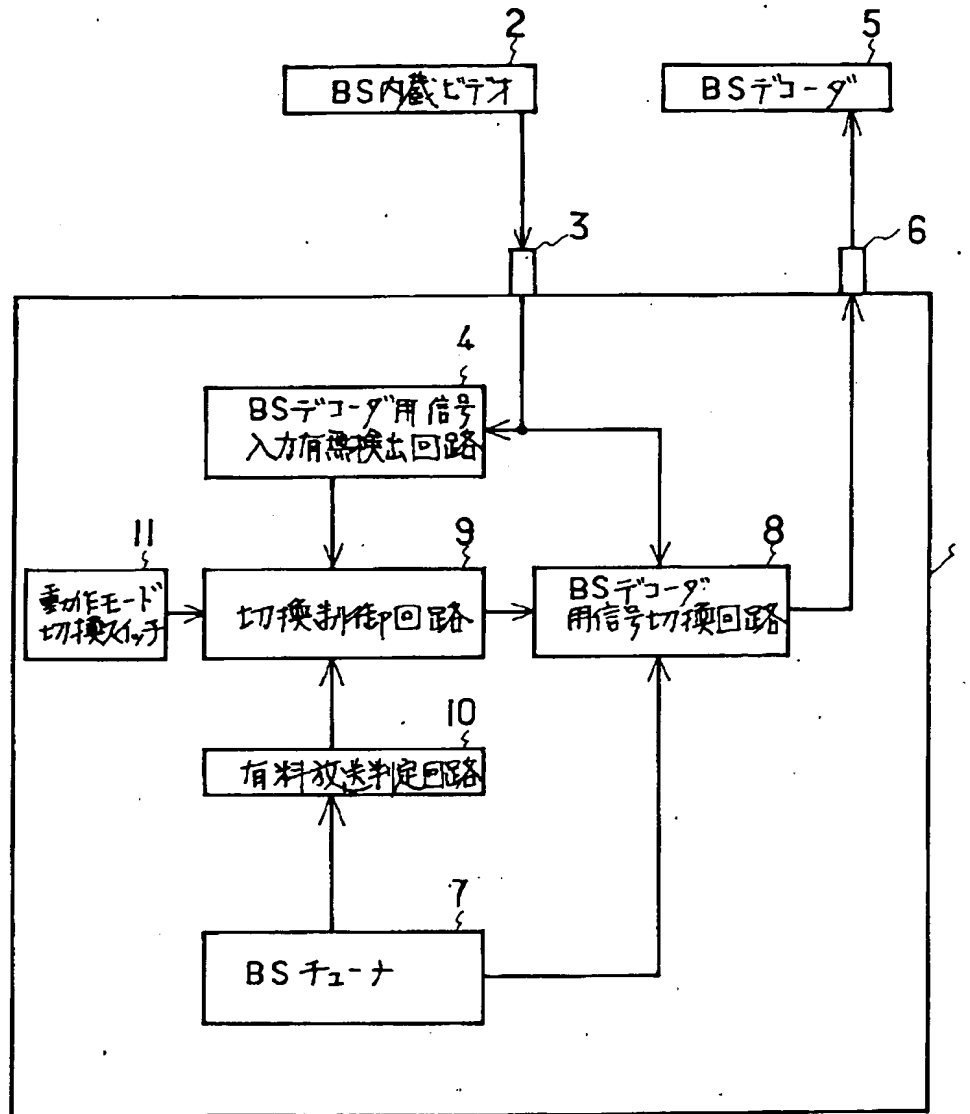
ロック図である。

【符号の説明】

- 1 BSチューナ内蔵テレビ
- 2 BSチューナ内蔵ビデオ
- 3 BSデコーダ用信号入力端子
- 4 BSデコーダ用信号入力有無検出回路
- 5 BSデコーダ

- 6 BSデコーダ用信号出力端子
- 7 BSチューナ
- 8 BSデコーダ用信号切換回路
- 9 切換制御回路
- 10 有料放送判定回路
- 11 動作モード切換スイッチ

【図1】



【図2】

